

令和7年度 中泊町一般廃棄物処理実施計画

1 計画の目的

本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和４５年法律第１３７号）第６条第１項の規定に基づき、ごみの減量化・資源化及び適正処理を推進するために策定します。

2 計画期間

令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

3 計画区域

本町の行政区域全域

4 計画区域人口・世帯数

人口 9, 331人 世帯 4, 803世帯 (令和7年4月1日現在)

5 一般廃棄物の処理主体等

1) 一般廃棄物処理の実施主体及び収集方式は、次のとおりです。

区 分		収集頻度		収集方式		中間処理		最終処分	
		中里地域	小泊地域	中里地域	小泊地域	中里地域	小泊地域	中里地域	小泊地域
可燃ごみ		週1回	週2回	戸別収集・自主搬入		事務組合		最終処分場（指定管理） ※焼却残渣	
不燃ごみ		週1回	週1回			—		最終処分場（指定管理）	
資源ごみ	缶類（スチール）	月2回	週1回	ステーション方式	ステーション方式・自主搬入	リサイクル（委託）	—		
	缶類（アルミ缶）								
	びん類（無色）								
	びん類（茶色）								
	びん類（その他）								
	ペットボトル								
	その他プラ容器	週1回	週1回	ストックヤード	ストックヤード				
	発泡スチロール								
	白色トレイ								
	紙パック	適時	適時						
	段ボール								
	新聞・チラシ								
	雑誌・雑紙								
衣類									

2) 一般廃棄物の収集は午前8時から行い、収集する集落については「ごみ分別収集カレンダー」に記載されている曜日に収集します。

3) 次の廃棄物は、収集・処理しないものとします。

- 家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に基づくもの
- 産業廃棄物
- 建築廃材 など

※この他、「中泊町家庭用ごみ分けガイド」に記載されている収集しないごみ

6 一般廃棄物処の発生状況見込み

1) 一般廃棄物処の発生状況見込みは、次のとおりです。

項 目	R05年度 実績	R07年度 計画
可燃ごみ	2,302,140	2,288,400
不燃ごみ	381,760	379,600
資源ごみ	340,667	338,600
缶類（スチール）	35,260	35,100
缶類（アルミ缶）	8,880	8,800
びん類（無色）	19,130	19,000
びん類（茶色）	28,200	28,000
びん類（その他）	18,040	17,900
紙パック	552	500
段ボール	85,172	84,700
ペットボトル	33,610	33,400
白色トレイ	1,100	1,100
その他プラ容器	8,470	8,400
発泡スチロール	1,000	1,000
新聞・チラシ	32,906	32,700
雑誌・雑紙	41,102	40,800
衣類	5,080	5,000
事業系リサイクル	14,595	14,500
金属	7,570	7,500
合計	3,365,234	3,345,000

7 中間処理体制

1) 中間処理は次のとおりです。

名称	西北五環境整備事務組合 西部クリーンセンター
事業主体	西北五環境整備事務組合（五所川原市、つがる市、鶴田町、中泊町）
所在地	青森県つがる市稲垣町繁田字白簾11-1
方式・規模	ストーカ炉 150t/日（75t/24h×2炉）
敷地面積	22,365㎡
主要設備	受入供給設備：ピットアンドクレーン方式
主要設備	焼却設備：ストーカ式 燃焼ガス冷却設備：水噴射式 非ガス処理設備：有害ガス除去装置、活性炭噴霧装置、バグフィルタ 給水設備：生活用水 上水・プラント用水 上水・再利用水 排水処理設備：長時間ばっ気処理方式 予熱利用設備：温水発生器、場内給湯、場内暖房 通風設備：平衡通風方式、煙突 脱臭設備：活性炭吸着方式

8 最終処分体制

1) 最終処分は次のとおりとします。

施設名	中泊町一般廃棄物最終処分場		
所在地	青森県北津軽郡中泊町大字尾別字尾別山1-13		
埋立開始	平成25年4月		
埋立容量	39,463㎡		
残余容量	23,854㎡（令和5年12月現在）		
浸出水処理施設			
	処理方式	第1擬集沈殿処理（カルシウム除去）+生物処理（硝化・脱窒）+第2擬集沈殿処理+砂ろ過+活性炭吸着+滅菌汚泥濃縮+汚泥貯留+脱水	
	計画水質	BOD	原水 250mg/L → 処理水 20mg/L
		COD	原水 100mg/L → 処理水 20mg/L
		SS	原水 300mg/L → 処理水 10mg/L
		T-N	原水 100mg/L → 処理水 10mg/L

施設名	中泊町（現）中里一般廃棄物最終処分場		
所在地	青森県北津軽郡中泊町大字尾別字尾別山1-5		
埋立開始	平成8年4月		
埋立容量	51,758m ³		
残余容量	7,240m ³ （令和5年12月現在）		
浸出水処理施設			
	処理方式	接触ばっ気+凝集沈殿	
	計画水質	BOD	原水 170mg/L → 処理水 20mg/L
		COD	原水 75mg/L → 処理水 40mg/L
		SS	原水 230mg/L → 処理水 20mg/L
		T-N	設定なし

施設名	中泊町（旧）中里一般廃棄物最終処分場		
所在地	青森県北津軽郡中泊町大字尾別字尾別山1-5		
埋立開始	昭和56年4月		
埋立容量	45,000m ³		
残余容量	0m ³ （平成9年3月に埋立終了 廃棄物搬入なし）		
浸出水処理施設			
	処理方式	接触ばっ気+凝集沈殿	
	計画水質	BOD	原水 170mg/L → 処理水 20mg/L
		COD	原水 75mg/L → 処理水 40mg/L
		SS	原水 230mg/L → 処理水 20mg/L
		T-N	設定なし

施設名	中泊町小泊一般廃棄物最終処分場		
所在地	青森県北津軽郡中泊町大字小泊字成滝139		
埋立開始	平成14年7月		
埋立容量	7,923m ³		
残余容量	1,378m ³ （令和5年12月現在）		
浸出水処理施設			
	処理方式	生物脱窒素（接触ばっ気）+凝集沈殿+高度処理（砂ろ過+活性炭）	
	計画水質	BOD	原水 170mg/L → 処理水 20mg/L
		COD	原水 75mg/L → 処理水 40mg/L
		SS	原水 230mg/L → 処理水 20mg/L
		T-N	設定なし

8 廃棄物の減量・資源化

- 住民団体による集団回収を行い、ごみ減量について協力する。
- 商品の購入にあたっては簡易包装のものを選んだり、買い物かごを持参するようにする。
- 積極的に再生品を使用し、ごみの減量化・資源化を踏まえたライフスタイルを心がける。
- 資源物が有効利用されるように分別の徹底、排出前の洗浄等を行う。

9 最終処分計画

1) 最終処分計画の目標

- ごみの排出抑制、資源化、減容化により、既存の最終処分場の延命を図る。
- 既存の最終処分場については、適正な維持管理により周辺環境を保全する。

2) 最終処分場の延命

最終処分場の延命のため、ごみの減量、分別収集の徹底、破碎・選別設備の建設等を行う。